



## G7広島サミット ウェルカム東広島



# 魅力を伝え 「また来たい」まちへ

Bienvenue!  
Welina!



G7サミット(主要国首脳会議)が5月19日(金)~21日(日)、広島市で開催されます。広島が世界から注目されている今、東広島市の魅力を世界に届けるチャンスでもあります。特集では、サミット開催をきっかけに気付いた本市の魅力やおもてなしのポイントを紹介。「また来たい」と思うまちへ向け、行動してみませんか。

問 広報戦略監 ☎(082)420-0919

広島が注目  
されている

世界情勢が緊迫する中、国際平和文化都市「広島」でのG7サミット開催。核兵器のない平和な世界の実現に向けたメッセージを強く発信できる重要な機会です。

東広島  
のファンを増やす  
良い機会

サミットには、世界各国の首脳や政府関係者、国内外メディアなど多くの人が集まります。広島滞在中の体験や感動が口コミで広がることも考えられ、サミット終了後も観光客の増加が期待されます。

Bienvenidos!

Benvenuto!



地域の魅力を  
知ってもらおう

広島県や広島市、経済・交通・医療などさまざまな分野の関係団体で構成する広島サミット県民会議は、在日の海外記者向けのツアーや、未来を担う若者が国際問題などに対する理解を深めることができるような企画を実施。平和の想いや広島の魅力などを発信しています。本市は「ものづくりにおける伝統と革新」「国際化の推進」といった点で、訪問先の1つに選ばれました。

地域の宝を  
探してみよう!

市外、海外の人たちとの交流の中で、本市の特徴や魅力に改めて気付かされることがあります。サミットは、地域の魅力を発見する機会にもなります。

### G7サミットって?

G7サミットとは、フランス、米国、英国、ドイツ、日本、イタリア、カナダ(議長国順)の7か国、欧州理事会議長や欧州委員会委員長が参加して、毎年開催される国際会議のこと。経済、地域情勢などのさまざまな地球規模の課題について意見交換をします。

### INTERVIEW

さまざまな形でG7広島サミットに関わっている本市の高校生や大学生に話を聞きました。

#### バスのラッピングデザイン

#### 優しい、明るい 気持ちになって

広島サミット県民会議の呼び掛けで、県内7校の高校生がラッピングバスのデザインを担当。本市からは西条特別支援学校の高等部が参加しました。

色とりどりのハトや花が描かれたラッピングのデザインは、高等部18人が制作。デザインテーマは「未来につなごう」。平和のメッセージや、サミットをきっかけとした国際問題への関心の高まりを、自分たち若い世代からもつないでいこうと、このテーマに決めました。

「枠を描く」「ハトや花の線画を描く」「線画に色を付ける」の3つの作業を分担。まさにチームワークによる作品です。



デザインの原画(一部)

本田奈々美さん  
(高等部3年生)

ハトの線画を担当

今回の参加でサミットへの興味がわきました。平和に近づくためにはいろいろな人が話し合うことが大切だと感じます。

上田優希さん  
(高等部2年生)

花の線画を担当

見ていると明るい気持ちになります。ラッピングバスを見て、達成感でいっぱいです。

高崎武さん  
(高等部3年生)

花の線画を担当

やわらかいイメージで描き、優しい花になりました。デザインに關われて良かったです。



デザイン完成までの工程をまとめた  
掲示物を持つ3人



県内を運行している  
ラッピングバス



#### G7広島サミット学生ボランティア

#### 学生パワーで広島を元気に明るく!



広島大学工学部4年生  
ののの  
日本睦美さん

「おもてなし活動で大事にしていることは、待つだけではなく自分から声をかけたり、声をかけやすい雰囲気をつくることです」と語るのは日本睦美さん。

G7広島サミット学生ボランティアのメンバーの一人で、結団式で学生代表として決意表明。「学生パワーを生かして、広島を元気に明るくすることで、広島サミットに関わる全ての方に笑顔になってほしい」と宣言しました。

G7広島サミット学生ボランティアは、県内21大学・高専から、おもてなしと通訳の2つのボランティア合わせて123人が参加。日本さんはおもてなしボランティアとして、イベント会場や



研修会の様子

インフォメーションカウンターなどで、広島に来た人の交通案内や情報発信などを担当します。

事前研修や活動を通じて、サミットへの関心がより高まり、国際儀礼や文化の違いにも興味が広がったそうです。「ボランティア経験を自分の成長にもつなげたいです」と意気込んでいます。



決意表明する日本さん(左)

# 伝統と革新



## 情熱と技術で新たな価値を生み出す

在日の海外記者を対象にしたプレスツアーでは、「伝統と革新」をテーマに県内7か所を訪問。このうち2か所が本市の今田酒造本店(安芸津町)と、サタケ(西条町)でした。

今田酒造本店は、酒造りに不向きといわれたこの地で発展した吟醸酒の歴史を説明。サタケは、酒造りの効率を向上させた日本初の動力式精米機などの技術革新や、精米の常識を覆す「米を磨く形を選べる」新技術を紹介します。

た。

「杜氏の切磋琢磨と、それを継承してきた物語をもっと多くの人に知ってほしい」と語る杜氏の今田美穂さん。サタケ経営本部広報フェローの宗貞毅さんは「革新を続ける私たちの情熱に驚いていたようです」とツアーを振り返ります。

情熱と技術で新たな価値を生み出し続けている人や企業の存在は、本市の魅力の1つです。

①今田酒造本店の日本酒。米を磨く形を選べるサタケの精米機で精米された酒米を使って造られている②サタケの精米プラント。いずれもプレスツアーで紹介



プレスツアーの様子

## 国内外の人が注目！東広島のきらり

G7広島サミットをきっかけに、さまざまな国内外の人たちが、本市の特徴である産業やまちづくりを見学しました。

外国人市民の割合  
中国地方No.1

## 国際化の推進

### 地域と外国人市民の交流を推進

国内在住のG7各国(日本以外)出身の高校生と県内高校生が国際的な課題の理解を深める「G7広島サミットジュニア会議」で、本市は多様性を考えるための訪問先選ばれました。

本市の総人口に占める外国人市民の割合は3.67%で、中国地方の自治体でナンバー1(令和4年1月1日現在)。外国人市民も暮らしやすい地域へ向けてさまざまな取り組みをしています。

講義では、多言語による生活相談窓口の開設や地域の国際化支援などを紹介。

参加した高校生からは、外国人市民

に対する生活情報の提供方法や学校現場の対応に関する質問もあり、本市の国際化の取り組みについて熱心に耳を傾けていました。



本市での講義の様子

### 国際化の取り組みの一部

- 地域と外国人市民をつなぐ多文化共生コーディネーターの配置
- 地域が国際交流事業に活用できる地域づくり推進交付金メニューの創設

## コラム

### 東広島の高校生が西条酒蔵通りを案内

ジュニア会議では、本市の高校生4人がガイドとなり、酒造りの歴史やおいしさの秘密などを紹介。ガイドを務めた西村悠さん(18)は「日本酒のことを知っている人も多く、うれしかった。通りの歴史を学び直して、分かりやすい表現にして伝えました」と笑顔でした。



西条酒蔵通りの見学の様子

## 観光案内所スタッフに聞きました

東広島市観光案内所スタッフ。左から石田はづきさん、道上有香さん



石田さん・道上有さん「観光客から最も多い質問は『駅周辺にある酒蔵を効率よく巡るルート』。おすすめルートの提案と同時に、通りの井戸で水がくめることなど、散策が楽しくなる『ミニ情報』も伝えています。

英語圏以外のお客さまに対しては翻訳アプリや地図、ジェスチャーを使うこともあります。分かってもらうこと、伝えようとするのがおもてなしにつながっていると思います」

ここがポイント！

誰にでもできる

## おもてなし

ポイント1

「ハロー」で受け入れ、「エンジョイ」で見送る  
まずは交流。この一言で外国人観光客の満足度が高まる！

ポイント2

東広島のファンになって、ミニ情報を集めておく  
自分自身が東広島のことを好きになり、アンテナを張ろう

ポイント3

### 観光案内所などを頼ろう

分からないときは、無理に解決しようとせず  
正しい情報がある場所へつなごう

## ディスカバー東広島レター

### 地域の宝探しのコツ



ディスカバー東広島のスタッフ。左から嘉瀬愛乃さん、大隅雄貴さん、緒方智子さん



まちの広報部

### 「あなたの宝探しが、地域の発展につながります」

一般社団法人ディスカバー東広島は、観光を通して東広島の地域活性化を図る観光コンテンツづくりを支援しています。企業や生産者の皆さんからの相談を受け、企画開発やプロモーション、イベント運営などをサポートしています。

サポートは企業や地域の「宝探し」から始まります。ほとんどの場合、皆さんが当たり前と思っている中に、非日常で魅力あふれることが隠れています。

SNSの企画「まちの広報部」では、皆さんから寄せられた地域情報を発信。見慣れた風景をいつもと違う構図で撮影すると、全く新しい景色を見ているよう。あなたの好きな場所や物、人に対して、構図を変えたり質問したりしてみると、それまで見えていなかった魅力が浮かび上がってきます。

## カメラ女子「東広島魅力発見ツアー」が行われました！

ディスカバー東広島が企画したモニターツアーには、岡山県や東広島市内のカメラ好きの女性6人が参加。三ツ城古墳や安芸国分寺などを回り、それぞれが魅力的な場所を見つけては撮影していました。



三ツ城古墳は石垣と白く続く道がまるで海外のよう！無料で入れるのも推しポイントです。

インスタグラマーのChinamiさん(岡山県)

魅力発見ツアーで参加者が撮影した写真



on the radio

ラジオで詳しく紹介します

FM東広島(89.7MHz)

5月10日・17日・24日・31日  
18時台

スマートフォンでも聞けます

